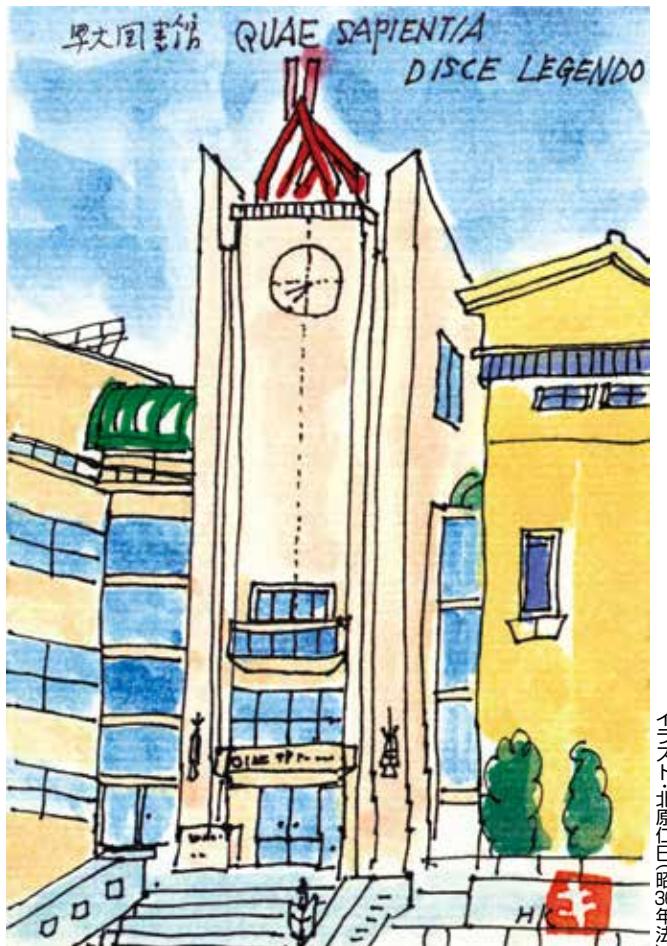




# 大阪早稲田俱樂部



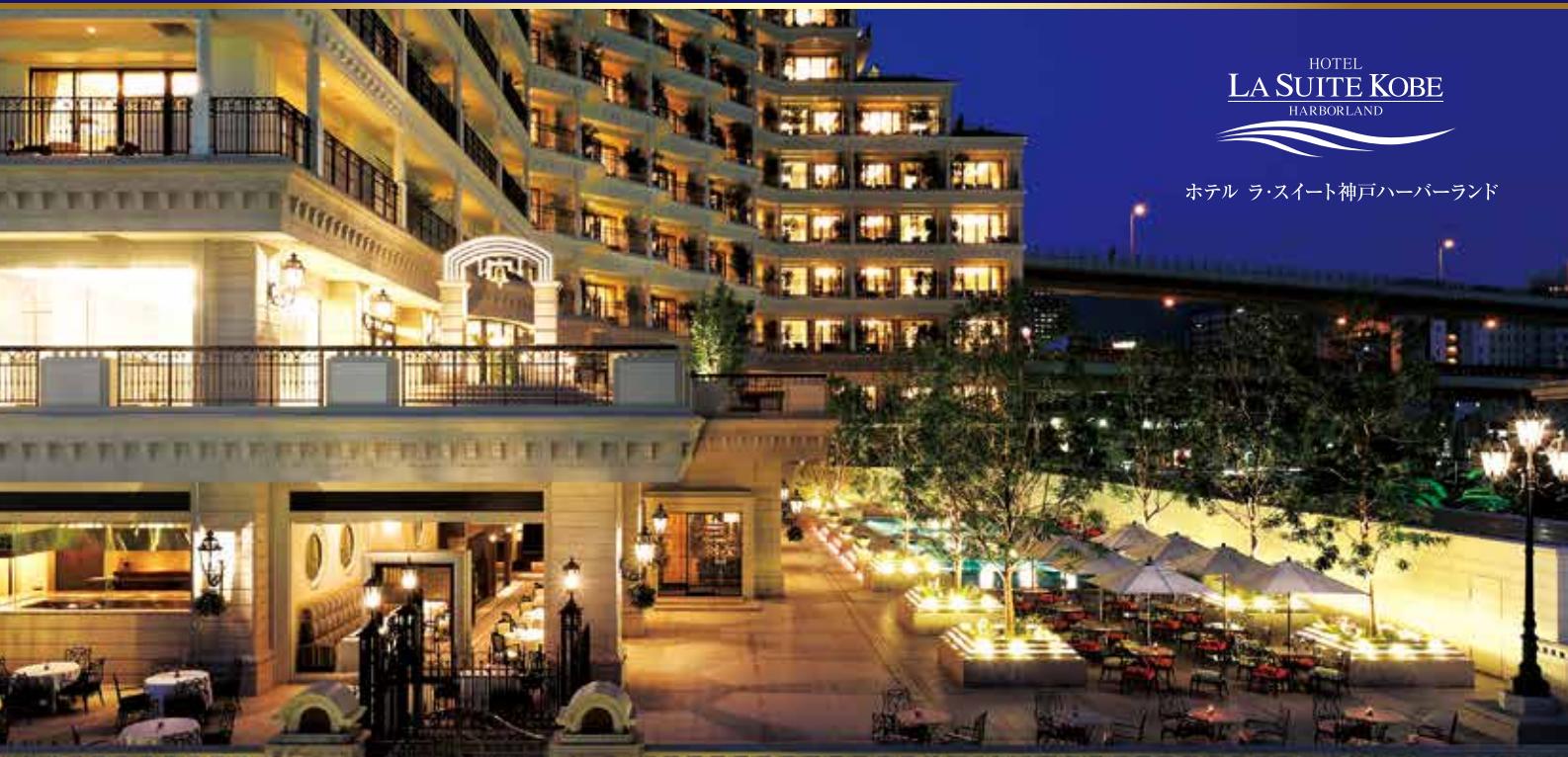
2015. summer

vol.170

総会報告：大阪早稲田俱楽部 定時総会	1
ご挨拶：新会長からのメッセージ	2
総会講演：あべのハルカスが開く新時代	3
ゴルフ：早稲田4連覇ならず	4
特別寄稿：三味線へのトライ	5
食べ歩き：牡蠣料理に舌鼓	6
食べ歩き：薬膳料理を食す	7
食べ歩き：鳴呼「食べ歩き会」	8
新企画：スーパー銭湯へ行こう	9
Wフォーラム：住江織物奈良工場を見学して	10

特別寄稿：八経ヶ岳登山	11
稻雲会：俳句会一年の歩み	12～15
ハイキング：満開の桜と水琴窟の見事な音色	16
ハイキング：奈良盆地の小火山巡り	17
史談会：根強い人気の史談会	18
学活の杜：オンラインビジネスで飛躍を	19
平成27年度役員・理事名簿	20・21
Wフォーラム：貴賓室で競馬観戦	22
校友会：校友会大阪府支部 紹介	23
収支決算書／俱楽部活動	24
俱楽部事務局一時移転／表紙の言葉	25

# 早稲田大学校友会会員様 特別ご優待プラン



HOTEL  
LA SUITE KOBE  
HARBORLAND

ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド

期間／2016年7月31日までのご利用

## ご宿泊

- |           |   |
|-----------|---|
| ■ 日～金曜日   | 1名様利用1室料金(朝食付) <b>23,000円(税・サ込)</b><br>2名様利用1室料金(朝食付) <b>32,000円(税・サ込)</b><br>3名様利用1室料金(朝食付) <b>39,000円(税・サ込)</b> |
| ■ 土曜日・祝前日 | 1名様利用1室料金(朝食付) <b>44,000円(税・サ込)</b><br>2名様利用1室料金(朝食付) <b>60,000円(税・サ込)</b><br>3名様利用1室料金(朝食付) <b>72,000円(税・サ込)</b> |

[通常] 66,000円～100,000円(2名様利用1室料金)

## ランチ・ディナー(レストラン「ル・クール神戸」または鉄板焼「心」にて)

- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| ■ ランチ 食事代金(飲料除く)  | <b>10%割引</b> |
| ■ ディナー 食事代金(飲料除く) | <b>15%割引</b> |

\*ルームサービス、ラウンジ&バーでのご飲食料金は除きます。

\*ご予約時に上記プランご利用の旨をお伝えください。

\*ご利用時にお名刺を頂戴いたします。 \*年末年始、ゴールデンウィーク、みなとこうべ海上花火大会開催日、お盆、クリスマス期間、全館貸切日等は除外日とさせていただきます。 \*3名様の場合は和室にて布団セットをご用意いたします。お子様添寝の場合は無料となります。 \*各種プランは割引対象外とさせていただきます。 \*客室タイプはお選びいただけませんが、優先的にアップグレードさせていただきます。 \*満室の際は、ご利用をお断りさせていただく場合がございます。



日本のホテルとしては  
初めてSLH(スマール・ラグジュアリー・  
ホテルズ・オブ・ザ・ワールド)に  
迎えられました。



ミシュランガイド関西  
(2011・2012・2013・2014・2015)  
「神戸ホテル部門で最高の評価」を  
5年連続で獲得いたしました。  
©MICHELIN2014

## ご予約・お問合せ

ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド  
HOTEL LA SUITE KOBE HARBORLAND

〒650-0042 神戸市中央区波止場町7番2号  
Tel 078-371-1111

<http://www.l-s.jp> ラ・スイート 検索

株式会社ラスイート  
代表取締役 関 寛之(平成8年理工建築卒)

2015年12月17日(Thu) グランドオープン  
「ラスイート神戸新港第一突堤プロジェクト」



神戸みなと温泉 蓼

源泉掛け流しの温泉旅館、  
健康増進施設を備えた和モダンの  
落ち着いた空間



ラ・スイート神戸  
オーシャンズガーデン

立食形式で最大700名収容可能な  
神戸港を臨む国際基準の  
コンベンションホール

<http://www.l-s.jp/1-tottei/>



# 大阪早稲田俱楽部定時総会

挨拶する人見会長



大阪早稲田俱楽部の平成27年度定時総会が5月14日、大阪新阪急ホテルで開催された。140人が出席し、第一部の講演会では、近鉄百貨店代表取締役社長の高松啓二さん（昭48年政経）が「あべのハルカスと近鉄百貨店ハルカス本店について」のテーマで講演した。

第二部の総会では、人見亨会長（昭45年理工）が「俱楽部は設立から96年目を迎えた。これからも幅広く会員さんが集い、大きく展開をしていく組織となることを願っております」とあいさつした。26年度の活動と決算報告、27年度の活動計画、予算が審議、可決された。

役員人事では、人見会長が任期を1年残して退任し、吉川一三さん（昭45年商）

が新たに選出された。吉川さんは住江織物代表取締役社長で、校友会大阪府支部長も務めている。任期は人見会長の残り任期の1年。また、理事改選では任期2年の新理事に留任・新任の35人が選ばれた。残り任期1年の理事32人と合わせ、理事は67人になった。

総会には来賓として豪谷友紀・早稲田大学学長代理や校友会京都府支部長、奈良県支部長らが出席した。

第三部の懇親会では先輩、後輩の歓談が続き、大阪稻門グリークラブの男声合唱が盛り上げた。

（役員・理事名簿、26年度決算、27年度活動計画などは別頁を参照）



見事なハーモニーのグリークラブの合唱

想いをかたちに 未来へつなぐ



**TAKENAKA**

竹中工務店

〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13 tel: 06-6252-1201  
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1 tel: 03-6810-5000

# 新会長からのメッセージ

大阪早稲田俱楽部 会長 吉川 一三(昭45年商)



吉川一三さん

大阪早稲田俱楽部は大正9年（1920年）創立で、近く100周年を迎えるとする伝統ある組織です。早稲田を愛する数多くのみなさんが集い、親睦を深めてきました。現在の会員は700人弱ですが、この90数年の間の延べの会員数はいかほどのものでしょう。若手から大先輩まで同じ学び舎で過ごした良き縁を大切にし、大阪の地でなごやかに交流し、大阪の発展にも尽くして来られました。このすばらしき俱楽部の新会長にこの度、推挙いただきました。光栄でありますと同時に俱楽部をより良きものにせねばならないという責務に身の引き締まる思いです。

さて、角帽に下駄で象徴されるバンカラ、武骨という早稲田のイメージは今は昔といえなくありません。女子学生が増えました。留学生もその数は日本一のことです。英語だけで授業を受けられる課程もあります。授業の出席率も高いようです。社会勉強と称してアルバイトや趣味に明け暮れていた御仁とはちょっと違うようです。キャンパスも様変わりしました。安倍球場がなくなり、中央図書館になり学生の向上心に応えています。キャンパスを行きかう学生たちが澆刺としているのは嬉しい限りです。大隈庭園は少し狭くなつたで

しょうか。大隈重信侯の銅像も高層校舎に囲まれていますが、今も変わらぬ温かさで学生を見つめ続けてくれていることでしょう。

大阪早稲田俱楽部の活動は多岐にわたっています。芸術、スポーツ、文化ほか会員のみなさんが老いも若きも楽しく交流できるのがこの俱楽部の特徴です。入会間もない方がもう十年來の会員であるかのようなことも珍しくありません。熱き稻門の心のなせる技でしょう。他大学のOB会との交流も盛んです。近畿だけでなく関東はじめ各地の稻門会とも仲良くしています。私は俱楽部のこのいいムードを保ち、さらに多くの仲間にご一緒いただき、ああ早稲田で良かったと言っていただけるよう、微力ながら力を尽くすつもりであります。みなさまのご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



## 優秀な語学人材はインターフループへ

人材育成から  
派遣・紹介までを  
ワンストップ

【人材育成】弊社教育機関インースクールで語学訓練

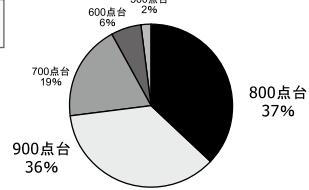
↓  
【品質管理】講師がスタッフの能力を評価、見極め

↓  
【派遣・紹介】ご要望に応じた語学スペシャリストを提供

●人材派遣・紹介予定派遣 主な実績先●  
大手製薬会社(日系・外資)、大手製造メーカー、官公庁、国公立・私立大学、外資系企業、研究機関等、諸団体 多数

弊社スタッフのTOEICスコアは800点以上が中心

弊社スタッフ  
TOEICスコア  
分布図



語学スペシャリスト人材派遣・紹介の  
(翻訳・通訳・バイリンガル秘書・英文事務等)



株式会社 インターフループ  
since 1966  
人材部  
東京、大阪、名古屋、仙台、広島、福岡、京都、金沢

06-6372-8350

ipacs-osa@intergroup.co.jp

▶ インターフループ

検索

# あべのハルカスが開く新時代

5月14日の大阪早稲田俱楽部総会では、近鉄百貨店の高松啓二社長に講演いただいた。高松さんは大阪市出身。昭和48年政経卒で、近鉄に入社。鉄道の企画開発や不動産部門などを経て平成25年に百貨店に異動され、昨年5月より代表取締役社長。この日は「あべのハルカスと近鉄百貨店ハルカス本店について」のテーマで、昨年3月のハルカス誕生でがらりと変わったあべの・天王寺について語ってもらった。以下は、講演の抄録。



あべの近鉄百貨店は昭和12年に大鉄百貨店として開業し、増改築を重ねて昭和63年には西日本一の売り場面積となる百貨店に衣替えしました。しかし、旧館の老朽化、競争激化、顧客ニーズの変化で新たな対応が迫られていました。平成16年には、このエリアが都市再生緊急整備地域に指定され、容積率アップで敷地の高度利用が可能になりました。大阪では、りんくうゲートタワーと大阪府の咲洲庁舎が256mで最高で、これを超す構想を立てましたが、平成19年に航空規制区域が緩和され、あべの・天王寺の290mの高さ制限がなくなりました。それで、当時日本一だった296mの横浜ランドマークタワーを抜くことも視野にいれ、最終的に300mのあべのハルカス誕生となるわけです。

どんな手を使って規制緩和をしてもらったのと聞かれたりもしましたが、まったくの偶然のことだったんです。

さて、日本一のビルとなると、情報発信力が違います。メディアでは全国ネットで取り上げてもらえ、あ

べのがナショナルブランドになりました。昔は天王寺・あべのでしたが、今はあべの・天王寺です。

ビルは地上60階、地下5階。百貨店にホテル、美術館、オフィス、展望台

と立体都市を形成しています。58階の広場で結婚式をしたり、成人式や夏祭りもしたりしているんです。市大病院のサテライトであるメディカルプラザや大阪芸大や阪南大など4大学のキャンパスもあります。展望台は今も人気ですが、オープンの1年間で予想の180万人を上回る258万人の方に来ていただきました。ホテルはお値段は少し高いですが眺望抜群で稼働率も93%に上ります。百貨店も10万m<sup>2</sup>の売り場面積は日本一です。小売業の業態はスーパー、コンビニほか変わってきていますが、百貨店としてこれから高コストやデフレ、人口減に対応していかねばなりません。

この日本一のあべのハルカスが、暮らしを彩る街のような場としてにぎわうことが願いで、私はお客様にどう楽しんでもらえるか、どういう形で来てもらえるのか日夜考えています。みなさま今後ともよろしくお願ひいたします。



講演する高松社長

**オリジナル  
レターセット俱楽部**  
Original Letter set Club

ネット上で封筒、便せんの色を決め、写真を選んで注文するだけで  
オリジナルのレターセットが“カンタン”に出来上がります！

小ロット対応！ 5パック1セット～[1パック:封筒6枚、便箋12枚] 2,260円(税込)

詳しくはホームページをチェック！ 宝文社 レターセット俱楽部 検索 TEL(06)6352-0456 株式会社宝文社 担当:林

QRコード

# 早稲田4連覇ならず——早慶ゴルフ大会

プレー前に集まつて記念写真



第9回大阪早慶ゴルフ大会が5月6日、茨木カンツリー倶楽部・東コースで開催された。15組60人が参加。チーム戦では、慶応に軍配が上がり、早稲田の4連覇を阻まれた。通算成績は早稲田の6勝、慶応の3勝となった。

名門コースでの開催とあって参加希望が相次ぎ、早稲田が半数の30人を上回る参加となり、まず人数で「勝利」。ゴールデンウイーク最終日でみなさんお疲れのところでしたが、天候に恵まれ、最強のライバルが相手とあって気合い十分で臨んだ。ダブルペリア方式で、チーム戦は上位10人のネットスコアで競った。慶応は10人で726.2。対する早稲田は728.4とわずかの差で勝利を逃した。ただ、正味スコアのグロスでは、慶応923に対し、早稲田は906と勝っていた。

表彰式では人見亨・大阪早稲田倶楽部会長が冒頭、あいさつに立ち、「60人の参加者を迎える、すばらしい天候に恵まれたなか、とても楽しく、いいラウンドができたものと思います。これからもなごやかにお付き合いください」と述べた。優勝杯を人見会長から贈られた大阪慶應倶楽部の錢高一善会長は「はじめのころは早稲田さんにコテンパンにやられ、もうやめよう

やとの声も出ていたほどでした。それから奮起して少し盛り返し、今回勝利することができました。これからも大隈さんと福



人見会長(右)より優勝杯を贈られる慶応の錢高会長

沢さんの兄弟船のように早慶がしっかり手を取り合って頑張りましょう」と笑顔で語った。

個人戦では、これまで早稲田が上位を占めることが多かったが、今回は1位から5位までを慶応に譲ることとなった。逆に6位から14位まで早稲田が占めたが、この差がチームの総合成績に現れたようだ。

## 稻門上位20人 成績表

(左端の数字は全体での順位)

順位	氏名	OUT	IN	グロス	ハンディ	ネット
6	徳井隆一	53	45	98	26.4	71.6
7	伊藤晴夫	44	41	85	13.2	71.8
8	高森浩一	50	46	96	24.0	72.0
9	藤井俊男	52	43	95	22.8	72.2
10	竹田雅幸	43	39	82	9.6	72.4
11	金本基弘	41	44	85	12.0	73.0
12	稻部勝博	43	40	83	9.6	73.4
13	名村英紀	51	42	93	19.2	73.8
14	廣内謙	43	50	93	19.2	73.8
16	野村公平	47	49	96	21.6	74.4
18	滋野雅之	45	50	95	20.4	74.6
21	藤原実	50	49	99	24.0	75.0
22	柏木行道	46	46	92	16.8	75.2
23	横山利治	45	47	92	16.8	75.2
25	中村雄一	54	48	102	26.4	75.6
26	平田房夫	48	41	89	13.2	75.8
28	岡端武	52	53	105	28.8	76.2
29	尾下千明	50	49	99	22.8	76.2
30	木下斎	47	58	105	28.8	76.2
31	宗野正吾	49	44	93	16.8	76.2



The Finest Golf Resort  
**YOMIURI GOLF**

読売ゴルフ株式会社

〒669-1141 西宮市塩瀬町名塩北山

◆よみうりカントリークラブ 0797-61-0112

◆よみうりゴルフウェストコース 0797-62-1121

◆よみうりショートコース 0797-62-1122

さくらコース・光コース

# 三味線へのトライ

林 仁(準会員)

3年前、古稀を迎えた時点で、勤務を非常勤に変更してもらえた。余裕の出た時間をどう過ごすか。模索していたその頃、高校の同窓会の席で、N君から声が掛かった。

「お前音楽が好きやろ。尺八一緒にやらんか」との誘いである。

彼の家の3階を道場として、週一回民謡の三味線、尺八、唄をやっていて、先生から直接指導を受けられるのことである。N君は在学当時3年間音楽部に所属、2年生でエーストランペッターになった腕であった。当時わが校は天理高校と毎年雌雄を決するほどの、関西での吹奏楽の雄でもあった。それからいくと、4~50年は吹いているであろう。

「尺八? あんな竹に穴だけ開いてるようなもんが、どうして音が出せるんや」。私の選択肢に尺八はなかつた。

すると彼はいともあっさりと「まともな音出るのに3年やな!」と言う。

何々、今の自分の年で3年足したら・・・。幸い健康ではあるが、先になればなるほど生死が定かではない。それに第一あの吹いている格好はあまりスマートとは僕には思えない。

「止めとくは!」。「ほな、三味線はどないやねん。若い女の先生でな、NHKのTVやラジオにもたまに出やはるで!」とのこと。食指が動いた! もう一つの理由に、右手(バチ)と左手(弦・糸)と別々の動きだから、先行きボケ防止に良いかも知れんなあと呟嗟に思った。

旬日を経て見学に出掛けた。驚いた! なかなかどうしてレベルが大変高いと思われた。ただ、やっておられる人々は中高年で、年齢的に気後れすることもなさそうである。N君からは「ぜひ入れ」と勧められ、先生からは「宜しければ一緒にぜひ」と。

入会の即答は避けて帰宅。後門の狼ならぬ女房に相談した。「・・・? ・・・?」。暫しの沈黙の後「道具はどうするのん?」。「ものになるかどうか分からへんので、先輩の空いているのを借りられるねん」。「けどお父ちゃんの気の多い性格やったら続かないと思うは」。阿吽の呼吸で、反対ではないと分かる。この一言で習うこと決めた。

かくして、三味線の指導を月2回受けている。ビギナーは私一人で、二代目佐藤桃仙先生の個人指導の形となった。ご主人は米谷流の米谷大輔さんと言い、笛と尺八を指導しておられる。尺八が3年も掛かるのにこれやつたらバチさえ當たれば音が出るからなんて単純な発想で始めたが、大間違いであった。実に難しい。弦のチューニングから始まって、バチが弦を間違える、押えるツボを間違える、姿勢が崩れる、テンポを間違える等々。汗のかき通し。練習もやつとこさやるのだが、道場へ行くと家のようにはいかない。弾けない、ダメだを繰返している内に、何かしらどうしたことか、そのうちに、はっと上手くツボへ指が運べ、バチが良い音をたまに出すようになってきた。

そんな試行錯誤を経て、借用していた道具をお返しし、2年前の7月、自分の三味線を購入した。価格はピンからキリまであるが、高額なものはおしなべて音が良い。許容範囲の一番高いところで自分のへそくりから大枚をはいたいた。

今に至るまで多分人より長く掛かっている筈だが、稽古に「行かなければならぬ」から、「稽古に行く、行けると楽しい」に気持ちが切り替って半年。合奏ながら先生の他の教室の方との演奏が大ホールで出来るところまでやつとのことでなれた。辛抱強く指導くださる先生にも感謝である。ただ、三味線は所詮唄の伴奏であって、メインになることはない。継続することで三味線の奥深さや音の良しあしが幾らか分かり、何もかも忘れ、集中出来るところもあり楽しく充実してきた昨今である。



# 牡蠣料理に舌鼓

藤本 竜太(平12年教育)

岡山県牛窓の牡蠣は3月7日(土)、雨の中、24名の参加で大阪を出発。

今年より、鳴神委員長、伊藤副委員長体制になり、最初の食べ歩きの会。噛み噛みの鳴神委員長の挨拶に初々しさを感じる。人前でしゃべるのは緊張しますよね。

恒例の自己紹介を終え、渋滞で少し遅れながらも牛窓に到着。

牛窓は日本のエーゲ海といわれ、夕陽がすごく綺麗な景勝地。特に前島フェリーからの夕陽は日本の夕陽百選に選ばれており、晴れていればきっといい景色に違いないと思うものの雨のため綺麗な景色を楽しむことが出来ず残念。

一行は牛窓からフェリーに乗って前島へ。車も乗せられるフェリーのためわずか5分の乗船であるが、意外と大きい。座ってしゃべっていればそれこそあつという間の時間。泳いで渡れるかもしれないという錯覚すら起こしてしまう。晴れていれば展望台に行って景色を楽しむのもいいと思うけど、雨なのが残念。

ようやく唐琴荘に到着。人見会長のあいさつの後、食事を楽しむ。

牡蠣の前に刺身、たたき、小鍋などが出で、海の幸満載。新鮮なためかおいしい。前回と違い、牡蠣尽くしではなかったものの、バランスが取れたメニューで良かった。

新鮮な牡蠣は蒸すだけで、何もつけなくても十分においしさ。牡蠣を楽しみにして参加した方も十分に満足されたのでは?

みんなでワイワイやりながら飲んで食べれば、楽しく、参加した甲斐があるというもの。お土産に牡蠣をいただき、後日の楽しみに。

昨年も帰りに立ち寄った中光商店で驚きの商品発見。昨年同様、かまぼこをや天ぷらを買って帰るという以外何も期待していなかっただけに衝撃あり。チーズケーキ風かまぼこ。まだテスト段階で販売はされていないが、試食をさせていただき、そのうまさに感動。販売されていれば買っていたと思うし、是非商品化してほしい一品。いくらでも食べられる、多くの方がそう感じているようでみんな食べる食べる。特に伊藤先生はよく食べていたなあ。全く期待していなかっただけにびっくり。これも食べ歩きの会に参加したからこそ。

6月はあべのハルカスの桃谷楼で中華。次回もきっと楽しい時間が過ごせると期待しています。



住むほどに そう、品と質。

阪急のマンションブランド「ジオ」は25周年を迎えました。

*Geo*  
ジオ



阪急不動産

〒530-0017 大阪府大阪市北区角田町1番1号 東阪急ビルディング内

お問い合わせ先: ジオラブ倶楽部事務局 TEL: 0120-8923-01 / 受付時間: 午前10時~午後6時 水曜・木曜(定休)

詳しくは [ジオ](#)

検索

# 薬膳料理を食す

小林 一則(昭55年政経)

「夏バテ知らずのお料理」と  
薬膳師の辻野さん



第49回となる食べ歩き・グルメの会は6月13日、日本一高層のあべのハルカスにある中国料理「桃谷楼」阿倍野賓筵で薬膳料理としゃれこみました。26人の参加です。

薬膳と聞くと漢方薬

が入った精進料理のようなイメージがありますが、「お薬が入ってるんじゃないんです。季節に合わせた食材と調理法を組み合わせて作るのが薬膳です」と同店の辻野咲さんが説明してくれました。辻野さんは、中華中医薬学会認定の国際中医薬膳師の資格を持つ薬膳料理のアレンジャーで、この日の食べ歩き会のために「夏の暑さを乗り切る身体づくり」をテーマにした菜譜(メニュー)を用意してくれました。

まずは「天使の海老と野菜の甘酢の取り合わせ」。天使の海老とは初めて耳にしますが、見た目は普通の海老。ですが、天国に一番近いと言われるニューカレドニアで獲れた海老だから、そういうらしいです。食べると背中に天使の羽が生えて飛び上がるほど美味しい、というわけではなく、やはり普通の海老。

どこが薬膳かというと、甘酢がポイントのようです。酸味、苦味、甘味、辛味、塩味の五味が薬膳の基

「天使の海老と野菜」。  
さてお味は



本で、これは酸味となるメニュー。

次は「ふかひれ入り冬瓜のスープ 翡翠仕立て」。見た目はほんと翡翠色。見た目で食欲をそそる日本料理風ですが、翡翠の色はほうれん草で出したんだとか。冷んやりしたスープで、これは美味しい。薬膳のもう一つの基本、五性を取り入れたもの。

五性とは、熱性、温性、涼性、寒性、そして温かいのにも冷たいのにも属さない平性。このスープは涼性でしょう。

というような具合に「帆立貝柱と夏野菜の大葉炒め」「牛肉の香料煮込み 黒酢のソース」「とうもろこしのお粥」などと続きます。

五性・五味。それぞれにあるんでしょうが、これまた美味しい紹興酒とアンズの甘露酒の「百葉の長」に酔いしれて、五性・五味のどれかと吟味しないまま心地よく箸が進みました。

中華鍋で強火でガーッと炒めたコテコテ、ギトギトも中華。はんなりとした薬膳も中華。食は中国にあり、とは良く言ったもので、奥が深そうです。

「おいしく食べて健康になる。それが薬膳料理です」。この日のお膳立てをしていただいた「桃谷楼」営業部長の鈴木道隆さん(俱乐部準会員)が最後に締めてくれました。ごちそうさまでした。



美味しい料理とお酒に満足、満足

## 野村総合法律事務所

弁護士 野村 公平 昭和47年 法

NOMURA KOUHEI

〒530-0047 大阪市北区西天満3丁目14-16 西天満パークビル3号館3F

TEL.06-6365-0130 FAX.06-6365-5016

# 嗚呼「食べ歩き会」。ノスタルジーを込めて

野中 民蔵(昭40年法)

11年の長きにわたり「食べ歩き会（グルメ委員会）」を担当させて頂きました。（継続は力）と言います。果たしていかほどの（力）があったのかどうか分かりませんが、参加者の皆さんにはそれぞれの思い出をお持ち頂いたと思います。私が「グルメ委員会」に関わったのは時の副理事長、岡野先輩の発案により、後輩の田尾君の推薦もあり、委員長を引き受けた次第です。当時は今ほど委員会はあまり多くなく、俱楽部の活性化に向け、委員会をもっと増やそうとしていた時期でした。

私も初めての経験でしたので、何をどうしたら良いか分からず、戸惑うばかり。取り敢えず、第1回目は田尾君の進めもあり、京都「長岡」の京彩料理屋「いっぷく亭」と大山崎山荘美術館鑑賞、散策を企画しました。何人集まるか心配ましたが、10数名の参加者があり、ひと安心しました。その年はメンバーの推薦もあり、4回企画し、毎回好評を博したのを覚えています。

翌年からは北原先輩の協力を得て、色々な企画を立てる事が出来、委員長として、胸をなでおろしました。又、揚野君のお力にも感謝する次第です。このようにして、（食べ歩き会）は毎年多彩な企画を立て、メンバーもいつしか（常連）が増え、楽しみにしておられ、次はどんな所に行くのか尋ねられた事も多々ありました。毎年暮れの（忘年会）で、翌年の企画を立てていましたが、出来るだけ季節に合った料理と場所を選んでメンバーと相談して決めました。

## 【食べ歩き会の歴史】

1	2003年5月	京彩料理「いっぷく亭」
2	2003年6月	ちゃんこ料理「宍喰」
3	2003年8月	ホテルオークス「五山送り火」
4	2003年11月	赤目48滝と伊賀肉炭火焼「三太夫」
5	2004年2月	城崎蟹料理「ブルーキのさき」
6	2004年4月	桜と近江牛「毛利志満」
7	2004年7月	沙羅双樹と塩田温泉会席「夢の井」
8	2004年10月	貝塚料亭「花祥」
9	2005年3月	室津活魚料理「まるよし」
10	2005年7月	祇園宵山見物とホテルオークス「ディナー」
11	2005年11月	吉野山と料亭「さこや」
12	2006年3月	虫明の「牡蠣」
13	2006年6月	壱阪寺と吉野川の鮎料理「弥助」
14	2006年9月	韓国料理「味楽園」
15	2007年3月	山辺の道と合鴨料理「あきひろ亭」
16	2007年6月	淡路島の鰐料理「菊水」
17	2007年9月	高野山の精進料理「無量光院」

計47回企画しましたので、思い出は尽きません。毎回違った所と思いつつ、やはり好評の所は何回か行きました。メンバーの（磯辺陽子）さんの紹介で岡山瀬戸内の虫明、牛窓の「牡蠣料理」は3回もりクエストに応えて企画。尼崎の

「河豚」料理も大変好評で、昨年は8人もウェイティングがおられ、お断りするのに大変。和歌山の「ク工」料理も美味しかったと、感想を頂き、有難かったです。

「肉」料理は、近江、大和、山形、伊賀牛と色々な所の肉を食べて頂きました。変わったところでは韓国料理の「参鶏湯」、鯨料理、「ばたん鍋」、あなご料理、鳥の水炊き、等様々な料理を堪能してもらい、無事昨年、私と副委員長の北原先輩は役目を終えさせていただきました。この間、大役の会計を藤川、三嶋さん、観光バスを三野くんにお世話になり、この場を借り、厚くお礼を申し上げます。今年度から鳴神委員長、伊藤副委員長のコンビにバトンタッチいたしました。長い間お世話になり、本当に有難うございました。

「理想をもて、勇気をもて、そして前へ進め」（大隈重信）私の好きな言葉です。



18	2007年11月	参鶏湯料理「韓味一」
19	2008年3月	牛窓の牡蠣と魚料理「潮音せとうち」
20	2008年6月	花菖蒲と幕菜料理「ぬなわや」
21	2008年9月	若狭小浜四季彩の宿「花椿」
22	2009年3月	有田九絵（くえ）料理「松林」
23	2009年6月	京料理「もみぢ家」
24	2009年9月	鯨料理「むらさき」
25	2009年11月	中国料理「桃谷楼」
26	2010年2月	牛窓の牡蠣と魚料理「TAMAKI 1世」
27	2010年4月	仏隆寺の桜 森原の牛しゃぶ「うし源」
28	2010年6月	因幡街道芦津の里 山菜料理「みたき園」
29	2010年9月	葛城街道と鴨料理「あきひろ亭」
30	2010年11月	イタリア料理「アグラシオン」
31	2011年2月	河豚料理「童」
32	2011年4月	海津大崎の桜と大津プリンスホテル（スカイハイキング）
33	2011年6月	淡路島鰐料理「菊水」
34	2011年11月	京都洛西水尾の水炊き「やまじゅう松尾」
35	2012年2月	柴山港の蟹 佐津波音の宿「くろしお」
36	2012年3月	明石城の桜と蛸「人丸花壇」
37	2012年6月	司馬遼太郎記念館と地中海料理とワインの店「アルトレタント」
38	2012年10月	曾爾高原のススキと山里の美味「奥香落山荘」
39	2012年12月	談山神社の紅葉と義経鍋「多武峰観光ホテル」
40	2013年3月	牛窓の牡蠣「TAMAKI 1世」
41	2013年6月	堺のあなご「仁志乃」
42	2013年9月	お好み焼「象屋」
43	2013年11月	ばたん鍋「近又」
44	2014年3月	蟹「くろしお」
45	2014年6月	ク工料理「松林」
46	2014年9月	すき焼き「小川亭」
47	2014年11月	河豚料理「童」
48	2015年3月	牛窓の牡蠣
49	2015年6月	中国・菜膳料理「桃谷楼」

# スーパー銭湯へ行こう、ほろ酔いセットも楽しもう

大きなお風呂に入ってゆつたりと。風呂上りにクイッと一杯やるのも至福の時。こんなのが気軽に俱乐部のみなさんとご一緒しませんか。という新しい部会の動きです。まだ部会として正式に立ち上がったわけではありませんが、楽しい企画として持ち上がりました。

大浴場や露天風呂やサウナやジャグジーや薬湯や電気風呂や岩盤浴や。いろいろあってお値段も800円、900円。風呂上りに軽く飲んだり食べたりできる食堂のようなものもあって。それがスーパー銭湯。大阪や尼崎、西宮などに結構あります。ご近所にもあると思いますよ。中にはほんとに温泉というのもあります。みんなで入って、入浴後に一杯とつまみ1品か2品のほろ酔いセットのようなものでワイワイと。どうでしょう。グルメや演劇や、ちとお高いのが・・という向きには格好かも。肩ひじ張らずに文字通りの裸の付き合いを。



6月18日の俱乐部理事会で山口守さん(昭51年文)が提案されました。これは面白いとの声が大勢で、まずやってみようということになりました。早速、山口さんにセットいただき、7月18日(土)、阪急三国駅近くの「あるごの湯」で開催の運びとなりました。この冊子が出ているころには、いかほどの人気だったかが明らかになっているでしょう。

名前は仮称で「湯ハビリ湯会」か「湯フレッシュ湯会」。リハビリ、リフレッシュがちょっとなまって愉快ですね。

毎月1回、土曜日の午後に実施。入浴とほろ酔いセットだけでなく、天満天神繁昌亭で落語を聞いて、また道頓堀の角座で漫才などの寄席を楽しんだあとに、とあれこれ構想がふくらんでいます。幹事は当面、山口さんにしてもらい、評判よければ部会として発足との運びです。さあみなさん、スーパー銭湯に集合です！



## 四季のパーティープラン

各種会合・同窓会の他、お客様招待会・発表会など  
ビジネスにもお役立ていただけます。

着席スタイル・立食スタイル

お一人様￥5,500～(50名～100名様)

\*日曜・祝日貸切プランもご用意しております。

お問い合わせ

☎ 06(6316)1577・1590

阪急グランドビル 19F

J R大阪駅・阪急梅田駅・地下鉄御堂筋線梅田駅 徒歩5分



メンバーズクラブ 関西文化サロン

# 住江織物 奈良工場を見学して

関根 武雄(昭40年法)=宝塚稻門会

Wフォーラムの企画で織物工場の見学があると聞き、手を上げました。3月31日、JR法隆寺駅に集合し、タクシーに分乗して奈良県安堵町にあります住江テクノ株式会社奈良工場へ向かいました。住江テクノ株式会社(社長:吉川一三校友会大阪府支部長)の製造部門として平成25年6月に分社化。前身の住江織物株式会社奈良事業所は昭和46年4月に開設されています。

従業員数は190名(奈良工場としては135名)、敷地面積は約3万坪で建築面積は34,000m<sup>2</sup>。生産設備は1.タフト工程 2.染色工程 3.仕上工程。私は仕事の関係で独自消臭加工技術「トリプルフレッシュⅡ」に大変興味を持ちました。

これは光も電気も使わずに消臭する環境にやさしい消臭加工技術でカーテン、カーペット、壁紙、自動車

内装材などで使用。住江は自動車内装材のトータルサプライヤーであり、鉄道車両内装材のトップメーカー。また太陽電池など新規事業の開発にも積極的に参加。見学の進行は住江テクノ代表取締役、住江織物株式会社技術・生産本部長三村善英取締役が担当。工場内はコーナーごとに担当者の明記があり整然としていました。Wフォーラム住江織物工場見学の参加者は29名で世話人は大阪早稲田俱楽部の豊島恵子さんで京都、神戸、宝塚、東京からも参加されていました。終わつたあと何人かは法隆寺の桜を満喫したと聞いております。



## 株式会社 財産プランニング研究所

代表取締役・不動産鑑定士

熊澤 一郎 昭51年商

不動産の鑑定評価、  
コンサルティング

〒560-0011 豊中市上野西1丁目10番7号 TEL.06-6854-0002 FAX.06-6849-3355  
E-MAIL : i-kumazawa@z-plan.jpn.com

大阪事務所

〒541-0041 大阪市中央区北浜1丁目5番5号 大阪平和ビル6階

TEL.06-6229-0050 FAX.06-6229-0051

# 八経ヶ岳登山

片岡 隆(昭34年商)

近畿最高峰の頂きでパチリ



昨年（平成26年）9月、近畿・中国地方最高峰の八経ヶ岳に登った。私達が通例大峯山と呼んでいるのは大峯山系のひとつの山であり、正式な名前は「山上ヶ岳」である。大峯山という固有名詞の山はない。八経ヶ岳は大峯七十五修験場の五十一番の行場である。役行者が法華経八巻を埋納した事で此の名がつけられた。

私達の登山コースは、近鉄吉野線下市口駅より借用のマイクロバスで登り口下の天川川合まで行き、大峯縦走路出合より山に入った。登りはじめの2、3時間は可成りの急坂を攀じ登り、雑木をくぐり抜けるという可成りきびしい道であった。後はそれ程の急坂もなく、第一日目の宿泊地である弥山小屋に午後3時頃に到着。小屋は天川村の村営で、最多収容人員150人との事。可成り高い所にあるので水は谷の水を利用してあり、飲料不可。お湯も出ないし、風呂も無い。飲料は自分で持参しなければ高いお金を払うしかない。カンビールは持参すれば冷やしたビールと交換してもらえる。此の山は日の出を拝む絶好の山でもある。宿の近くに展望に適した小さな広場もあり、テントを張つて御来光を待つ若いカップルも多かった。



神々しい日の出に感動

翌朝は又とない好天に恵まれ、日の出を拝む事が出来た。遠く富士山のかなたから神々しく昇る日の出に一同感極まった。

二日目は八経ヶ岳山頂アタック。小屋よりさほど遠くなく小一時間で到着。山頂は岩と瓦礫の狭いスペースだが360度の展望が可能。此の様な恵まれた山頂は少ない。天候に恵まれ大満足。直ちに下山に取りかかる。元来た道を折り返すだけである。

待機のマイクロバスで、打ち上げ会場の天川村山伏宿の老舗旅館「あたらしや」へ。社長の大西良一氏は和敬塾で同じ釜のめしを喰った仲間である。今回の企画で大変お世話になり一同感謝。又、今回企画には東京首都圏支部元支部長の田中克人氏が東京より日帰りで参加して下さった。有難う。最後に私の山の一句「声かけて山攀じ登る秋の空」。



頂上を極めて笑顔になりました

# 俳句会一年の歩み (第540回～第542回)

## 四月句会 2014年4月13日

吟行—春日大社 萬葉植物園— 兼題：囁目

二上の見ゆる馬酔木の花の上  
孕鹿の人待つてゐる煎餅屋  
浩一郎

万葉の庭の小道や花曇  
馬酔木咲く小径下れば池静  
青城

梨の花とろどころに目立ちけり  
花仙堂円座語らふ春うらら  
いっこう

馬酔はすあせびの花の白さかな  
万葉の歌碑にひとひら桜かな  
秀寛

人知れずきほふことなく花櫻  
飛火野やゆるりと歩む孕鹿  
だいち

鉢句ふ春の行楽電車かな  
長閑さや古都吟行の万歩計  
治

御衣黄の桜はいまだ蕾かな  
春山の煙れる色も古都の昼  
喜代

清明の色いろいろに万葉園  
春日野に小鳥は遊ぶ八重桜  
京子

悠久の古都を巡りてのどけしや  
神仏に抱かれーと日百千鳥  
廣子

華やぎはすぎつつあるも桜かな  
植物園馬酔木の花に遲速あり  
こうき



## 五月句会 2014年5月20日

兼題：更衣・若葉・花水木・当季雜詠

山若葉分け一水の落ちゆける  
柿若葉一枚づつに照り映えて  
浩一郎

渓越えてざはめき寄せし青嵐  
渓沿ひの若葉の小径通りけり  
城洋

骨董市彩り添へて花水木  
山裾を白一色に花水木  
こうじ

さざなみの若葉の風やあかね富士  
定食に粽添へたる町食堂  
青城

吉野ヶ里弥生の息吹風薰る  
対馬行く倭寇時代の夏河原  
隆

杖買ひて初めての坂花水木  
更衣タンスに残る母の影  
いっこう

麦騒ぐオーヴェールの丘鶲飛ぶ  
ほろ苦き筍を食み母おもふ  
けんじ

四十萬の漁見る舟や若葉風  
お大師の更衣かな奥の院  
秀寛

ふるさとの花柚子にはふ柿のごと  
更衣二の腕見する通学路  
だいち

無聊の身ここあそこにも花水木  
一時の解放感や更衣  
美和子

息災の身のしみじみと更衣  
襟首の洗濯票や更衣  
治

若葉風乳母車の児蹠見せ  
歳月に似合ふ赤あり更衣  
喜代

更衣明るくなりし街の色  
若葉には語りかけくる言葉あり  
京子

池光り草木の光り夏来る  
鯉幟川面の風を満腹に  
廣子

濃く薄く櫻若葉のゆるき坂  
ボール蹴る生徒が一人花水木  
こうき

## 六月句会 2014年6月17日

兼題：杜若・短夜・五月雨・当季雜詠

五月雨れて淀満々と奔るかな  
短夜の明くるも待たで佳き電話  
浩一郎

散り敷きて方丈の庭沙羅の花  
紫陽花の錦古刹の庭を埋め  
城洋

短夜や枕にひびく遠汽笛  
杜若濃き紫の風に透く  
こうじ

風鈴を残し隣家の引越せる  
姫沙羅の散りたる庭や踏み場な  
青城

揺らぐ葉に目玉の見える青蛙  
沼わたる蝦蟇の声消え幾年か  
隆

明け易の夢の続きの知りたしや  
五月雨に傘を重ねて路地の坂  
いっこう

やるせなや業平詠むるかきつばた  
初萤手のひらに来てほのかなり  
けんじ

茄子胡瓜糠漬嬉し酒ありて  
石楠花の山一面に横峰秀

塔頭のゆふぐれながし夏椿  
村雨にいとど色映え杜若ち  
だい

さみだれて北摂の山重なりぬ  
短夜や心の闇をまどろみぬ  
美和子

さみだるる吉野の宿の瀬音かな  
短夜や出でゆく船の大漁旗  
治

山法師宇治大寺へ小径かな  
短夜や四時に朝刊入る音代  
喜代

杜若水の匂に咲き初めし  
古里の友と語らひ明易京  
子

花蜜柑香の一村を包みけり  
舞うて散るひとひらづつの竹落葉  
廣子

川とんぼ離れて草の動きたる  
咲きそむは淡き色より七変化  
こうき

# 俳句会一年の歩み (第543回～第545回)

## 七月句会 2014年7月15日

兼題：合歓の花・夕立・天神祭・当季雜詠

星の夢見てゐる沼や合歓の花  
夕立来と声かかり来る堀向う  
浩一郎

帆を連ねヨットハーバー雲の峰  
七彩のかけはし残し夕立去る  
城 洋

夕立の去りて雲間に日差し透く  
篝火の川面に映えて船祭  
こうじ

端居して見慣れし庭を眺めいる  
橋くぐりどんご舟の囁かな  
青 城

夏蝶や消えて又出る曲芸師  
夏の暁起重機もやに静かなり  
隆

どんどん船あばれ太鼓に今日生きる  
打水の路地に舞奴の下駄の音  
いっこう

なつかしや鼻の頭にはつたい粉  
空蝉の廂の下にふたつみつけんじ

合歓の花迎ふる宿に杖洗ふ  
宵宮に生まれし我の天満祭  
秀 寛

木曾の宿大夕立にこもりみる  
山の端に夕日とどまる夕立晴  
だいち

夕立や招きもされぬ客隣  
夕立や下駄ひっかけて金捨てて  
美和子

手拍子に繁盛のせて船祭  
夕立の土の匂ひや窓の外  
啓一朗

海峡の橋も淡路も夕立かな  
川も狭にどんどん船の気勢かな  
治

鉢迅きどんどん舟や木場若中  
合歓の花うすくれなみに誰か棲む  
喜代

夫と妻向かうて座るさくらんぼ  
山道の青葉時雨は傘いらづ  
京 子

木洩れ日にさやぐ木の葉の涼しさよ  
雨煙る池塘を点す合歓の花  
廣 子

地蔵堂前のどろ池半夏生  
風つれて走る夕立のしぶきかな  
こうき

## 八月句会 2014年8月19日

兼題：草市・蜩・残暑・当季雜詠

母の呼び蜩の呼ぶ夕餉時  
蜩の遠き記憶の中に棲む  
浩一郎

渓わたる風は初蝉乗せて来し  
雲の影ゆるやかに往く花野かな  
城 洋

駅の辺に人集まりて草の市  
京の路地霖雨に濡れて秋暑し  
こうじ

変電所庭に咲きつぐ白木槿  
村人と挨拶交はす墓参り  
青 城

夏山路アラビア文字の木の根かな  
蜩やその日その日のわが想ひ  
隆

かなかなの読経に混じる禪の寺  
木蔭にも残る暑さや高野山  
いっこう

一葉落ち無沙汰の人へ便り出す  
盆踊なつかしき声聞こえくる  
けんじ

笈摺の背に汗の絵 夏遍路  
雲の峰結願嬉し大窪寺  
秀 寛

胡弓の音街抜け闇へ風の盆  
木曾駒や風に揺れいる山桔梗  
だいち

草市や瓜の役目を母に聞く  
残暑にはカレーうどんと半ライス  
啓一朗

メモを手に妻の使ひや草の市  
ふと思ふ己が余命や草の市  
治

秋暑し返す便りの溜りけり  
秋暑し葉挿みしまゝの本  
喜代

山門をくぐる一步や秋の風  
秋蝉の日に疲れでは鳴き細り  
廣 子

突然の客はかなかな夕餉どき  
赴任地の街に出ずれば草の市  
こうき

## 九月句会 2014年9月16日

兼題：颶風・夜長・花野・当季雜詠

颶風に流れし会のあと始末  
齟齬ありしことを知りたる夜長かな  
浩一郎

目路遙か光波打つ花野かな  
コスモスの波搖れ止まず貨車の列  
城 洋

子供追ふ犬見え隠れする花野  
夕映えに色かはりゆく花野かな  
こうじ

話盡き黙って二人月の徑  
念入りに小骨はずして秋刀魚喰ふ  
青 城

声かけて山攀じ登る秋の空  
木槿花まだまだ咲けり撫で通る  
隆

空澄みて遠くアルプス大花野  
検定の漢字と過ごす夜長かな  
いっこう

水煙のむかうにまろき月のぼる  
手を伸べて触れたきスーパーMーンかな  
けんじ

花野行く同行二人青き空  
名月や地ビールじやこ天道後の湯  
秀 寛

大花野ちひさき富士を見はるかす  
新涼の旅や能登路の馳れし宿  
だいち

長き夜の雨音にしてひそひそと  
老眼鏡ここにも置いてある夜長  
啓一朗

尾を振って花野に立つや岬馬  
徒然に足の爪切る夜長かな  
治

行合の空や綿雲鰯雲  
独り居の夜長の紅茶アールグレイ  
喜代

雨粒を含みて萩の零れけり  
奔放な風の宿りし乱れ  
萩 子

白萩の道にせり出す盛りかな  
大空にくちらもをりて鰯  
こうき

# 俳句会一年の歩み (第546回～第548回)

## 十月句会 2014年10月21日

兼題：秋高し・秋風・菊・当季雜詠

その老いし母に隨ふ菊の園  
気にかかるこどもまた無く秋高し  
浩一郎

雲流る信濃高原花芒  
夜の窓を開けば沈みる秋の声  
城 洋

庭隅や菊一輪の明るさよ  
沖合に白帆一点天高く  
こうじ

新蕎麦に出会いふ信濃路ひとり旅  
惜しみつつ雨戸を閉づる月の宿  
青 城

木の実落つ懐かしの淵遠き日よ  
咲くか今グラス片手の月下美人  
隆

秋高し馬を放ちて草千里  
大紅葉染むる湖水や磐梯山  
いっこう

石山や紫式部実をこぼす  
くちなしの実の上向きや愛染院  
けんじ

欠け始む月を愛でるや淡路島  
秋風や熊野古道八咫烏  
秀 寛

住吉に吹く風白し西鶴忌  
秋風に吹かるるままに石舞台  
だいち

秋高し行きつけぬ空サンディエゴ  
秋風や何する術も知らぬ身に  
美和子

墓参り長き草抜き手を合はす  
久々に墓参に提げて酒肴  
啓一郎

秋風に庭掃く背の丸さかな  
秋風に昭和の歌をうたひけり  
治

鯨跳ねて汽水の川に潮充ち来  
秋風の瀬戸大橋を跨ぎをり  
喜 代

秋高し祭太鼓のはづみつつ  
月光に白く煌めくすすき原  
京 子

御田見る祢宜の安堵や豊の秋  
真っ直ぐに銀杏黄葉をゆきて城  
廣 子

將軍塚嶺は遙かに京の秋  
片隅に残せし菊の咲きはじむ  
こうき

## 十一月句会 2014年11月9日

吟行:堺南宗寺から大仙公園内の日本庭園へ 兼題:鴎目

はや冬の雨の中なる南宗寺  
対岸の紅葉黄葉や雨烟り  
浩一郎

お茶人と並び時雨の雨宿り  
石蕗の黄の岸に沿ひたる小川かな  
青 城

秋雨のやさしきリズム石蕗の花  
会者定離大木切株秋の草  
隆

千利休しのぶ墓石に落葉散る  
琴の音に鴨も声出す池泉かな  
いっこう

初しぐれ水面に琴の音の流る  
手水鉢黙して時雨受けてをり  
けんじ

茶の咲いて茶人迎ふや小さき寺  
茶の花にうすすみの空ひろごりぬ  
だいち

龍の眼に紅葉も写る南宗寺  
家康の墓は紅葉の屋根をもつ  
啓一郎

錦木の落ちしばかりの葉を拾ふ  
佛殿の睨みの龍の冬の貌  
喜 代

搖るぎ無き利休の墓や冬ぬくし  
雨の中身ゆるぎもせぬ濠の鴨  
廣 子

二千年御世ぞはろけき秋陵墓  
雁鳴けば昌子の歌ぞ身に沈むる  
礼 央

大窓の外落葉降る句会かな  
山茶花の白艶やかに雨小徑  
こうき



## 十二月句会 2014年12月16日

兼題：年末一切・おでん・当季雜詠

古ることのまた煮えてゆくおでんかな  
ここにまた友とおでんの湯氣にあり  
浩一郎

おでん鍋喜怒哀樂の具を煮詰め  
付け過ぎた辛子おでんで嘆かな  
こうじ

山なみに大つごもりの夕日かな  
掃除終へひとり湯に入る年の暮  
青 城

河豚鍋や理不尽なこと許す気に  
ほんやりと明けそむ里や冬の露  
隆

おでん酒寂しさ隠し夜も更けぬ  
終電車おでん屋のあかり消え闇夜  
いっこう

ターナーを思ひ出したり漱石忌  
短日や足の運びの気忙しく  
けんじ

風に舞ふ護摩の火の粉や除夜の鐘  
柊の花白々と香るかな  
秀 寛

草枕住みにくき世の漱石忌  
嫁ぐ子やアルバム残し年の暮  
だいち

忘年会翌朝は又反省し  
おでん鍋箸が同じ具探し当て  
啓一郎

文もなくでんと新巻届きけり  
くじ買うて長者の夢や十二月  
治

ぱづぱつもいいかビジネス日記買ふ  
五日続く男やもめのおでんかな  
喜 代

繕も遠目になりし針供養  
柚子の香の馥郁として椀の中  
京 子

奥宮の辺り笹子の栖かな  
日を透かし風を透かして冬木かな  
廣 子

一鉢を日向に移し日向ば  
こ輝きをまとふ雲ある冬の空  
こうき

# 俳句会一年の歩み (第549回～第551回)

## 一月句会 2015年1月20日

兼題：新年一切・水仙・当季雜詠

踏み入れば水仙のみな見るごとく  
行く日々をいとほしみつつ春を待つ  
浩一郎

海風をゆったり受けて水仙花  
俯いて誰と話すらん水仙花  
こうじ

異国ともネットで交はす御慶かな  
いか焼きの匂ひ搔き分け初戎  
青城

残り柿打ち落す空飛行雲  
雪だるま街角にあり鬼に目  
隆

渦を巻く鳴門の海の初日出  
簾目の砂に足跡初雀  
いつこう

二上のシルエット濃し初明かり  
読初や文学全集八巻目  
けんじ

雪搔きが初仕事なり山の僧  
修業尼の成満なるや初日の出  
秀寛

菰うちの白みづみづし寒ばたん  
遠き地に嫁がせし子の初便り  
だいち

水仙や白と黄を挿す黒花瓶  
水仙の群れて水車のこっとんと  
啓一朗

頸紐の横顔凜々し出初式  
墨の香や童百人筆始め  
治

初風の吹き納まらず須磨明石  
ひと抱え母の手土産野水仙  
喜代

大寒にひるむことなく句会かな  
御降の雪となり木々白化粧  
京子

床の間の水仙の香に噎びけり  
神に添ひ仏に添ふて去年今年  
廣子

石段の水仙にはふところまで  
水仙を赤く染めたる夕日かな  
こうき

## 二月句会 2015年2月17日

兼題：寒明・冴返る・猫の恋・当季雜詠

寒明と聞けばこころの晴るるごと  
冴返る夜は父のこと母のこと  
浩一郎

寒明やステップ踏む子の髪の揺れ  
布団干す窓増えきたり寒明ける  
こうじ

我が庭のごとく恋猫通りすぐ  
梅の香を楽しむ今日の野点席  
青城

雪づりを通して見ゆる天守閣  
酔いざめの月こうこうと凍てる道  
隆

寒明や地蔵ほほえむ赤帽子  
八十路とて背筋延ばさん寒の明け  
いつこう

和布刈舟きらめく波に漂ひぬ  
屏際にそろりそろりと孕猫  
けんじ

梅林を抜けて五百の羅漢堂  
梅匂ふ石山寺の院の跡  
秀寛

息白き今朝の勤行冴返る  
寒明けの古都歩きけり托鉢僧  
だいち

寒明や犬の鼻から水と湯気  
紅い実を一掃し去る春の鳥  
啓一朗

古家の古き厨や冴返る  
冴返る受話器に届く大くしゃみ  
治

寒明けや角組む葦の高からず  
冴返るけふも地震のテロップが  
喜代

梅の花浮かして飲みし至福かな  
鳴き声の強く激しく猫の恋  
京子

手折りたる梅一輪に心解く  
水音にやうやく目覚め柳の芽  
廣子

寒明けて温もる一日もらひけり  
朝立ちの空の青さよ冴返る  
こうき

## 三月句会 2015年3月17日

兼題：東風・山笑ふ・鳥帰る・当季雜詠

朝東風や港の船の音届き  
里にわが棲み古りをれば鳥帰る  
浩一郎

朝東風や干竿売りの声聞ゆ  
夕東風や船溜りの小舟搖れ  
こうじ

畦行けば流れる雲や山笑ふ  
融雪をこほろぎ橋へ朝散歩  
青城

熱爛にやまめ横たふ竜宮宿  
好奇心バーかママか春電車  
隆

朝東風に干し鳥賊光る美保の関  
新校舎あふるる笑顔山笑ふ  
いつこう

つちぶりでハルカスのなき天王寺  
初物とはしやぎ箸取る木の芽和へ  
けんじ

春雨や子規の句碑ある淨瑠璃寺  
枝垂れ梅苔に散り敷く国分寺  
秀寛

艶めくや一輪ざしの黄水仙  
鳥帰るはるか知床山白しだい  
ち

大川に東風水草を掃き寄する  
天満橋東風に押されて渡り切る  
啓一朗

鳥万羽天を掩ひて帰りけり  
朝東風や丁髷がゆく下駄の音  
治

野落摘むひたすら摘みて一抱え  
鳥帰る旅路の空の幸くあれ  
喜代

東風吹いて眠りの土も起こされぬ  
はにかみし少女の如く山笑ふ  
京子

黒ぐろと耕されたる御饌田かな  
風光り水の光りて太鼓橋  
廣子

ひらひらと紅き花びら東風の庭  
春の雪風に舞ひ日に舞ふ一日  
こうき

# 満開の桜と水琴窟の見事な音色を楽しみました

時枝 奉之(昭45年院・理工研)

背割桜(背後の人と桜の大きさを比べて下さい)



今年の花見ウォークは宇治川と木津川の合流点に延びる背割桜で、4月4日に22名が参加して実施しました。長さ1.4kmの背割堤に249本の大木が桜のトンネルを作っています。これに石清水八幡宮・松花堂庭園を組み合わせました。今年はソメイヨシノがタイミングよく満開で、天候は前後の日は雨でしたが当日のみ雲一つない大快晴に恵まれて素晴らしい花見でした。

集合場所の（京阪）八幡市駅は花見客で大混雑。人の流れに乗って歩いて行くと背割桜の全体が見え、近くとそのボリュームに圧倒されます。桜のトンネルをゆっくり歩いて約30分で堤の先端着。帰路は集合写真を撮るために河原を歩きました。満開の大木の桜並木をバックに迫力のある写真が撮れました。これだけのボリュームの桜は初めて見て印象に残りました。

石清水八幡宮は日本三大八幡宮の一社で、京の裏鬼門（南西）を守護する神社であり、鬼門（北東）の延暦寺とともに重要視されていました。143mの男山（鳩ヶ峯）にあるので表参道の石段を登ります。展望台への道を登っていると石清水井があり、これが石清水八幡の名の由来だそうです。展望台で景色を楽しんでから昼食にしました。

次は本日の目的のひとつである松花堂庭園です。ここに松花堂があります。松花堂は江戸時代初期の書道、絵画、茶道で高名な僧侶である松花堂昭乗が石

清水八幡宮内の宿坊に構えた草庵です。当時は神仏習合なので神社に僧侶がいました。明治元年の神仏分離令で宿坊はすべて撤去され、松花堂もこの場所に移築されました。

彼は農家が種入れとして使っていた、中に十字形の仕切りがある器をヒントにこの形の器を作り、絵具箱や煙草盆として使用していました。吉兆の創始者である湯木貞一氏が料理の器に使用して、「松花堂弁当」として売り出したのがヒットした訳です。京都吉兆がここに松花堂店を経営しています。松花堂弁当発祥の地ですから記念に食べようかと思ったのですが、量

が少なくて我々の胃袋には足らない弁当が4,000円もするので止めました。

水琴窟も本日の目玉です。今まで各地で聞いた水琴窟の中で最もよい音色です。甕の中にぽたりと落ちる水滴の音が、こんなに素晴らしい金属音になるのが不思議です。残響がこの音色を作っているそうです。約1秒の残響の中で音が甕の中で反響し、音の波がこまかくなつて高い周波数になり高音の妙なる響きになります。音が小さいので竹筒を通して聴きます。茶室が点在するよく手入れされた庭園を楽しんで、最後のさくら近隣公園に向かいました。

さくら近隣公園はその名前の通りにソメイヨシノが多数あり、家族連れが木の下にピクニックシートを敷いて楽しそうに遊んでいました。人数が多いので懇親会は（京阪）枚方市駅に出て、見事な桜の感激を肴に楽しく懇談しました。



水琴窟の音色を楽しみました

# 奈良盆地の小火山巡り

時枝 奉之(昭45年院・理工研)

(耳成山頂上)  
大和三山“征服”バンザイ



甘樺丘から大和三山が綺麗に見えます。大和三山はよく知られていますが、登っている人は少ないので計画しました。耳成山はその形状から火山ではないかと思われたので調べてみると、奈良盆地には小さな火山が点在しています。北から三笠山・生駒山の宝山寺山・信貴山・二上山とそれに耳成山と畝傍山です。これらの火山は約1,500万年前の火山活動で生まれたそうです。まだ登っていない大和三山と二上山を奈良盆地の小火山巡りとして計画しました。この計画では天候が悪く大和三山は小雨決行、二上山は雨天順延で実施しました。

## その1：大和三山

大和三山は眺望がないので、景色を楽しむために甘樺丘にも登ると歩行距離は17kmになるため、畝傍山から甘樺丘までタクシーを利用することにしました。3月14日に16名が参加して、橿原神宮からスタート。最初の畝傍山は同じ道をピストンしてもつまらないので、岩の露出した急斜面を126m登って頂上着。下りは傾斜が緩やかなメインルートを快調に下りました。

駅に戻ってタクシー4台に分乗して甘樺丘着。昼食は景色のよい丘の上で取りたかったのですがまだ雨が完全に止んでおらず、幸い休憩所には誰もいないのでゆったりと腰掛けに座って昼食としました。昼食後に丘に登って大和三山の景色をゆっくり楽しんで出発しました。

香久山までは田圃の中を歩きます。香久山の標高差は53mなので10分で頂上着。頂上には小さな祠があるだけで眺望が無いため、一息入れただけで藤原宮跡を経由して最後の耳成山に向かいました。耳成山は登山道と言うより山頂直下にある耳成山口神社の参道で

す。三等三角点のある頂上に着いて集合写真を撮ろうとしたら、皆さん自然に「大和三山“征服”バンザイ」と声を上げました。目標を決めて努力して達成した喜びを感じる登山の本質を、ロングウォークで感じていただけた様です。お疲れ様でした。雨中の長い距離をよく頑張って下さいました。

## その2：二上山

3月の大和三山に続く奈良盆地の火山巡りです。予定した日が雨のため順延したので入れ替わりがあつて5月17日に8名で実施しました。二上山は標高が517mあり、何処からでも名前通りの整ったトロイデ型の双耳峰が見えますので皆さんよく御存じです。こちらは當麻寺からスタート。

先ず雌岳から登ります。途中に水場があり飲んだら冷たくて美味しいです。1時間40分で頂上着。頂上からの眺めはよく大きな日時計がありました。この山は人気があり車で来て簡単に登れるので、家族連れが沢山いて賑わっていました。木陰を探して我々も昼食にしました。

馬の背に下ってから登り返して30分で雄岳着。こちらの頂上にはお堂があるので写真を撮って通過。下りは広い登山道を快調に下ります。雄岳には二上神社口駅から登るのがメインルートらしく、よく整備された登山道です。我々は途中で別れて二上山駅に向かいました。



二上山雌岳頂上の日時計

# 根強い人気の史談会

俱楽部の各種部会は盛んですが、伝統ある史談会はちょっと硬派の勉強会として根強い人気があります。

始まったのは1993年（平5年）3月。稻雲俳句会の勉強会として、句友中西信伍氏（昭34年卒）を講師に、「記紀を読む会」としてスタート。初回シリーズは「神話と歴史」がテーマでした。以降、「古事記と日本書紀とどう違うか」「大阪地名考」「熊野信仰の話」と続き、途切れることなく足掛け23年。この7月の「街道を行く」シリーズで第226回を数えました。

その名の通り歴史を学ぶ会ですが、国内に限らず、「三国史演義について」「イスラエルの歴史とキリスト教」「東西文化の邂逅—リスボンと堺」「水滸伝と陽明学左派思想」といったものもありました。一方、母校がらみで「葉隠れ精神と早稲田大学」「回想の早稲田！」もテーマになっています。歴史だけでなく「現在の哲学」「建築とその周辺あれこれ」「大阪の伝統芸能“文樂”」と間口は広くなっています。

聴講は10人に満たない時もありましたが、30人を超える盛況の時もあり、最近は10数人といったところです。

今年開講しているのは、北原仁巳さん（昭36年法）

による「街道を行く—歴史と文学の道」です。このシリーズは旧街道研究家である北原さんの十八番で、2005年（平17年）に始まり、今年は第5部です。古来

より商いや旅や戦、はたまた密偵や隠密が行き交ったであろう街道の今昔を豊富な資料と現地を取材しての丁寧な解説により、学ぶことができます。



北原さんは「旧街道はかつては相当なにぎわいを見せていましたが、今もしっかり残って人々が行き交い、暮らしており、歴史の遺物ではありません。この研究は私のライフワークですが、街道を行き交った人に思いをはせることで歴史のロマンに浸ることができます」と意欲満々で、シリーズはまだまだ続きます。

史談会を主宰する田中宏さん（昭33年文）は「これだけ長く続けて来れたのも、熱心な受講生のみなさんと立派な先生方のおかげです。テーマが尽きることはないと思いますので、いろんなジャンルにもテーマを広げ、多くの方に楽しく、わかりやすく学んでもらえたらと思います」と話しています。

原則として毎月第2金曜日午後6時から8時まで、大阪新阪急ホテルか関西文化サロンで開催しています。聴講料は千円です。俱楽部の行事案内に載せていますので、みなさまふるってご参加ください。初めての方も歓迎です。



ミニバンなら！



コンパクトなら！



ハイブリッドなら！



**ネットワーキング北大阪株式会社**

取締役会長 小西清海 昭和22年政経  
代表取締役社長 小西康仁 昭和52年商

[ネットワーキング](#) [検索 ▾](#)

# オンラインビジネスで飛躍を

俱楽部の新しい活動として企画された「学問活用の杜」。初回(2月16日)の中谷酒造(奈良県大和郡山市)の中谷正人社長(昭58年法)に続き、2回目は6月15日、住江織物(大阪市中央区)の吉川一三社長(昭45年商)に登場いただいた。テーマは「企業100年の歴史からオンラインビジネスモデルとグローバル展開による成長へ」。関西文化サロンでの講演に30人が聴講した。

住江織物は明治16年(1883年)創業で東証一部上場のトップメーカー。社名にあるように大阪・住之江でカーペットの製造を始めたのが創業だが、今はほかにカーテンや壁紙、さらには自動車や新幹線のシート材なども手掛け、海外展開も積極的に進めている。国会議事堂の赤じゅうたんは同社が納入し続けており、<sup>どんちょう</sup>国立文楽劇場やNHK大阪ホールの縞帳も同社製だ。

吉川社長は創業家ではないが、10年前に社長就任以来、積極経営を進めている。この日の講演では、バブル経済崩壊後の売り上げ大幅ダウンのなかで環境に配慮した製品の開発を進め、業界でオンラインの消臭加工技術を確立したことや、カーペットのリサイク

ルも初めて手掛けたことなど同社の独自展開をデータをもとに解説した。

成長の秘訣については、常にチャレンジしながら身の丈サイズをわきまえ、問題を先送りすることなく、時代を読み、変化に合わせ、自らが変化することを強調した。

講演後は、吉川社長を囲んで立食で懇談。出世街道をトントンと歩んで来たわけではない吉川社長の歩みや失敗談なども話題となり、にこやかに懇談に応じる吉川社長に参加者も次々と質問を投げかけていた。

次回は9月14日(月)午後7時より関西文化サロンで、民法改正をテーマに伊丹香寿美弁護士と小仲真介弁護士が講演する。



講演する吉川社長

業界のトップリーダーの言に参加者も  
真剣に耳を傾けた



講演後の懇親会ではぎっくばらんな  
懇談が続いた

**企画** *planing*

**デザイン** *design*

**印刷** *printing*

**大阪読売サービス株式会社**

〒530-0055 大阪市北区野崎町5番9号

お問い合わせ
制作センター TEL:06-6366-1823 FAX:06-6881-7235 E-mail:seisaku@oys.jp

# 平成27年度役員・理事名簿

会長	吉川 一三	(昭45年商)	副理事長	島田 隆史	(昭54年政経)
理事長	野村 公平	(昭47年法)	副理事長	小林 一則	(昭55年政経)
副理事長	竹田 雅幸	(昭47年商)	監事	岩崎 勇作	(昭47年商)
副理事長	小泉じゅん子	(昭47年文)	監事	田村 昌之	(昭54年法)
副理事長	熊澤 一郎	(昭51年商)	事務局長	和田 浩孝	(平1年教育)
副理事長	豊島 恵子	(昭52年法)	会計	酒井 敏行	(平11年人科)

新任理事  
(任期2年)  
35名

野中 稔	(昭36年理工)
山原 一晃	(昭37年理工)
大塚征慈郎	(昭38年政経)
津野 英男	(昭40年政経)
森本 充威	(昭40年商)
河田 一彦	(昭42年商)
揚野 寛	(昭43年政経)
小林 哲也	(昭43年政経)
廣末 雅昭	(昭43年理工)
田尾 秀寛	(昭44年商)
向井 利明	(昭44年政経)
今澤 哲朗	(昭45年政経)
人見 亨	(昭45年理工)
山澤 俱和	(昭46年法)
西田 隆郎	(昭47年商)
角 和夫	(昭48年政経)
伊藤 馨	(昭51年法)
熊澤 一郎	(昭51年商)

鳴神 静治	(昭51年商)
藤原 充	(昭51年商)
小西 康仁	(昭52年商)
佐藤 光宏	(昭53年理工)
小林 一則	(昭55年政経)
田中啓一朗	(昭55年社学)
稻部 勝博	(昭60年商)
森本 宏	(昭60年法)
和田 浩孝	(平1年教育)
中村 勇一	(平1年文)
大西 平一	(平4年政経)
古田 哲也	(平4年政経)
梅原 秀昭	(平5年法)
前田 修	(平6年政経)
酒井 敏行	(平11年人科)
藤本 竜太	(平12年教育)
藤田沙穂里	(平16年法)



北浜法律事務所

KITAHAMA PARTNERS

弁護士 森本 宏 (昭和60年法)

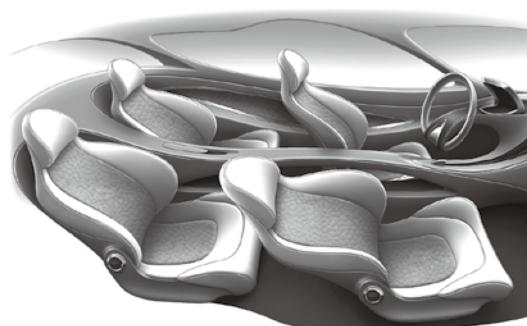
<http://www.kitahama.or.jp>

- 北浜法律事務所・外国法共同事業  
〒541-0041 大阪市中央区北浜1-8-16大阪証券取引所ビル  
TEL.06-6202-1088(代) FAX.06-6202-1080
- 弁護士法人北浜法律事務所東京事務所  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12サピアタワー14F  
TEL.03-5219-5151(代) FAX.03-5219-5155
- 弁護士法人北浜法律事務所福岡事務所  
〒812-0018 福岡市博多区住吉1-2-25キャナルシティ・ビジネスセンタービル4F TEL.092-263-9990(代) FAX.092-263-9991

# 平成27年度役員・理事名簿

現任理事（任期1年）  
33名

高野 泰明	(昭29法)
藤原 和	(昭33政経)
田中 宏	(昭33文)
松尾 博人	(昭33法)
北原 仁巳	(昭36法)
大内 英男	(昭36商)
山田 純子	(昭38理工)
森 一貫	(昭40政経)
吉川 一三	(昭45商)
藤井 俊男	(昭45法)
関 邦彦	(昭46法)
野村 公平	(昭47法)
竹田 雅幸	(昭47商)
稻田 増光	(昭47政経)
小泉じゅん子	(昭47文)
木下 斎	(昭48商)
山口 守	(昭51文)
豊島 恵子	(昭52法)
尾田沙智乎	(昭52商)
中西 克昌	(昭53社学)
島田 隆史	(昭54政経)
相間 靖三	(昭55理工)
費川 芳郎	(昭57教育)
土永 聰志	(昭61政経)
三木 基司	(昭61教育)
滋野 雅之	(昭63理工)
種田ゆみこ	(平1商)
大塚 紹子	(平1文)
関 寛之	(平8理工)
白原 早織	(平11人科)
秋元 敬典	(平12商)
八田 禅	(平17文)
浅井 佳穂	(平17教育)



代表取締役社長 吉川 一三（昭和45年商）

## 自動車内装材の グローバルトータルサプライヤー

生産技術力 トータル提案力 環境力 の融合によって自動車内装材の未来を創造

海外拠点 / アメリカ（サウスカロライナ、カリフォルニア）

中国（広州、蘇州、上海）

タイ（アユタヤ）

インドネシア（バンدون）

インド（グルガオン）

メキシコ（イラプアト）



住江織物株式会社

<http://suminoe.jp>

東証一部上場 証券コード:3501



スミノエテイジンテクノ株式会社

<http://suminoe.jp/stt>

## 貴賓室で競馬観戦

5月30日（土）午前11時より、京都競馬場に15名の紳士・淑女（男性7名・女性8名）が集い、青空が晴れわたる絶好の競馬日和のなか一日を楽しく過ごしました。

競馬の楽しみは勝ち馬を当てることですが、これが至難の技で、その道何十年のベテランの方々といえども笑顔はあまり見えず、部屋の一隅からは女性ならではの嬌声や笑いが起きている状況でした。男性の声はあまり聞こえず、ただ黙々と情報誌とにらめっこという雰囲気でした。

競馬の観戦も馬場が一覧できる眺望のよいベランダに総勢が立って、各自の投票馬券を握りしめ声援を送るという和やかな光景でした。夕刻4時頃には今日は楽しいひとときを過ごしたねと声をかけあい、三々五々に帰途の道へとつきました。

会食及び昼食の準備・手配のご配慮頂きました尾田沙智乎様に感謝致します。

奥野 富雄(昭49年社学)

さて、きょうの馬のコンディションは



貴賓室は最上階にあり、馬場中央の池が見下ろせます。池の白鳥は、馬場に飛び出してレースを妨害しないよう羽を一部抜かれているとのことです。その白鳥の名を冠したスワンステークスというレースがあります。オペラ「ローエングリーン」では白鳥のひく小舟に乗った騎士が敵を打ち破り、愛を手に入れ、そして大金も？

「マリリンモンローも 競馬の賭け金も ノーリターン」

山口 守(昭51年文)



貴賓室はまさに特等席。身を乗り出して観戦

ふだんなら入ることのできない貴賓室。馬主である尾田さんのご尽力で実現できた観戦会です。人気はとても高く、ご希望の方々の多くをお断りした次第です。京都盆地南端の絶景を背景に、美しい馬達の疾走に目とお金を奪われました。競馬歴40年あるいは中学生の時から馬券を買っていた（？）強者から、競馬場は初めてのマドモアゼルまで、本当に楽しいひとときでした。山口守さん、かなり幸せな負けっぴりでしたよ。次回は栗東トレセン泊りで「追い切り見学会」を予定しています。どうぞお楽しみに。

豊島 恵子(昭52年法)



存分に楽しんだあとに記念写真



# 早稲田大学校友会大阪府支部

## 校友会とは

早稲田大学の卒業生すべてで組織するOB会で、その数60万人。大阪府支部は、府内に在住、在職する卒業生全員が会員で、約8,000人を数えます。1920年（大正9年）に誕生した大阪早稲田俱楽部とともに校友、会員相互の親睦、交流を図っています。事務局は大阪早稲田俱楽部内に置き、校友会本部からの組織活動強化費のほか、みなさんからいただいている支部会費（年間2,000円）で運営しています。

## 役 員

支部長 吉川 一三 (昭45年商)	福井 澄郎 (昭45年政経)
副支部長 向井 利明 (昭44年政経)	西田 隆郎 (昭47年商)
人見 亨 (昭45年理工)	幹事長 小林 一則 (昭55年政経)

## 定期総会

日 時：2015年11月12日（木）  
会 場：大阪新阪急ホテル（大阪市北区）  
講 演：鎌田薰・早稲田大学総長ほか  
公 演：早稲田摂陵高OG「みつばち会」吹奏楽演奏

## 第6回 校友会大阪府支部ゴルフ大会

日 時：2015年9月12日（土）  
場 所：池田カンツリー倶楽部（池田市）  
組 数：27組  
競 技：ダブルペリア方式  
プレー費：20,000円  
会 費：5,000円（賞品、会食代）  
※女性と1998年以降卒業の方は3,000円  
申し込み：8月10日までに校友会大阪府支部事務局  
(大阪早稲田俱楽部内)へ

## 新年会

日 時：2016年1月16日（土）13時～  
会 場：シェラトン都ホテル大阪（上本町6丁目）  
主 催：校友会大阪府支部と大阪早稲田俱楽部

## 評議員

大学の最高決議機関の評議員会（92人）を校友で組織。近畿選出で吉川一三氏（大阪）と中島敏行氏（昭44年政経=校友会奈良県支部長）。本部選出では近畿関係で小林哲也氏（昭43年政経=近鉄代表取締役会長）と角和夫氏（昭48年政経=阪急電鉄代表取締役会長）

## 商議員・代議員

大学本部からの諮問審議、大学への建議を行う商議員は1000人。代議員は校友会の最高決議機関で1200人。大阪府支部選出の商議員、代議員は次のみなさん。任期（4年）は2016年6月まで

### ◆ 商議員（16人）

松尾 博人（昭33年法）	山原 一晃（昭37年理工）	大塚征慈郎（昭38年政経）
河田 一彦（昭42年商）	向井 利明（昭44年政経）	人見 亨（昭45年理工）
福井 澄郎（昭45年政経）	吉川 一三（昭45年商）	山澤 俱和（昭46年政経）
稻田 増光（昭47年政経）	岩崎 勇作（昭47年商）	竹田 雅幸（昭47年商）
西田 隆郎（昭47年商）	野村 公平（昭47年法）	熊澤 一郎（昭51年商）
田村 昌之（昭54年法）		

### ◆ 代議員（15人）

野中 民蔵（昭40年法）	森本 充威（昭40年商）	揚野 寛（昭43年政経）
小泉じゅん子（昭47年文）	尾下 千明（昭47年法）	尾田沙智乎（昭52年商）
豊島 恵子（昭52年法）	中西 克昌（昭54年社学）	相間 靖三（昭55年理工）
小林 一則（昭55年政経）	吉田 治（昭60年法）	種田ゆみこ（平1年商）
和田 浩孝（平1年教育）	大西 平一（平4年政経）	生島 啓二（平5年商）

# 収支決算書

(2014年4月1日～2015年3月31日)

収入の部	
会 費	8,325,460
寄付金	90,530
出版協力金	459,568
事業収入	1,557,500
雑収入	626,793
備品売却収入	270,000
基金取り崩し収入	0
当期収入合計	11,329,851

支出の部	
事 業 費	1,939,296
印 刷 費	795,543
会員名簿	561,600
小 計	3,296,439
給料・諸手当	2,981,509
家賃・共益費	1,817,014
通 信 費	569,381
消耗品費	934,590
振替手数料	64,490
慶弔接待費	80,000
雑 費	267,801
予 備 費	0
小 計	6,714,785
備品購入支出	1,965,600
当期支出合計	11,976,824
当期収支差額	▲646,973
前期繰越額	11,171,249
次期繰越額	10,524,276

(単位・円)

# 俱楽部活動実績・計画

## 2014年度活動実績

### 1. 俱楽部財政黒字化の定着化

事務合理化の積極的推進 発送文書費の削減 月次発送資料のメール配信化  
会員数：473／648人 473名×150円×8回=567,600円／年 ⇒ 削減効果  
新システム導入

### 2. 早稲田俱楽部祭の実施

4月11日（土）、於：KKRホテル大阪。俱楽部祭終了後に大阪城公園内の早稲田之森を見学。参加65人

### 3. ホームページの活用

ホームページからの入会者の対応 14年度実績 21名／55名（前年実績33名）  
コンテンツのタイムリーな更新。毎月の行事のカレンダー作成  
フェイスブックのグループページの活用（関西演劇文化研究会、早稲女会等）  
各種行事案内等の連絡・応募・出欠確認

### 4. 校友会支部活動との連携

校友会支部主催の文楽鑑賞会への参加（1月25日 参加49名）  
校友会支部と共に新年会への参加（1月17日 参加136名）

### 5. 部会活動

- ① 学問活用の杜（勉強会）の開始
- ② 関西演劇文化研究会の活動充実（文楽、歌舞伎、新歌舞伎座、大阪交響楽団、ピッコロ劇団、宝塚歌劇など鑑賞）
- ③ 青年部の活動強化
- ④ O S A K A W A S E D A G I R L ’ S （大阪早稲女会）の活動支援
- ⑤ 既存の部活動の充実

## 2015年度活動計画

1. 俱楽部財政健全化の維持
2. 会員の増強による会費収入のアップ
3. 校友会支部行事との連携強化
4. 広報活動の充実
5. 新入会員の追補および修正版名簿の作成ルーチン化
6. ホームページの拡充
7. サイレント会員の掘り起こし
8. 新人歓迎会の年2回開催
9. 部会の本格的活動開始
10. 青年部活動の活性化



## 和田総合会計事務所

株式会社 豊能計算センター

「経営者と共に考える」という基本スタンスで日々努力しています。

多様化するご要望に万全の体制でサポートいたします。

所長 税理士 和田 浩孝（平成元年 教育学部卒）

〒560-0021 豊中市本町7-4-18 和田ビル TEL:06(6849)5631 FAX:06(6848)1337 mail:hiro-m.wada@tkcnf.or.jp

## 俱楽部事務局 一時移転 11月末～4月末

俱楽部事務局は現在、梅田の大阪新阪急ホテル3階にありますが、同ホテルの耐震補強工事に伴い、11月末、同じ3階の中央南側フロアの別の部屋に移転します。

工事はホテルの営業を続けながら順次行われ、4月末には現在の事務局がある3階西側の工事を終えますが、同じ場所に戻るのではなく、同じ西側フロアの別の部屋に移ります。

なお、電話・ファックス、住所は変わりません。

## 表紙の言葉

早稲田大学の中央図書館です。創立110年目の1991年（平成3年）4月、安倍球場跡に開館しました。蔵書は250万冊。大学図書館としては全国でも最多級ということで、年間100万人の利用があります。

## 編集後記

年に一度の俱楽部ニュースの冊子バージョンをお届けします。原稿をお寄せいただいたみなさま、広告協賛くださったみなさま、ありがとうございました。

この1年のキーワードは「新」でしょうか。吉川新会長、俱楽部の顔としてよろしくお願いします。これまでお務めいただいた人見会長、ご苦労さまでした。人見会長は郷里の岡山に軸足を傾けられるとのことですが俱楽部の各種会合で引き続き一緒にできることを願っています。

食べ歩き会の委員長の野中民藏さんもバトンタッチされます。お疲れさまでした。俱楽部で人気筆頭の食べ歩き会ですが、11年間47回のご苦労に感謝です。総会講演ではあべのハルカスを開く新時代。天に向かって伸びる新時代ですね。高松さんありがとうございました。学問活用の杜も上々の滑り出します。硬派企画が少なかつただけに新鮮です。そして、新企画のスーパー銭湯で湯ったり。これは文句なしのびったりイベントですよ。

新、新、新と来ますが、稻雲会の句会は550回を超みました。史談会も足掛け23年226回を数えます。新しい企画も伝統ある部会とともにみんなで楽しめるのがこの俱楽部です。吉川新会長のご挨拶にあるように、ああ早稲田で良かった、と実感しています。

（広報委員会）



### 大阪早稲田俱楽部

〒530-8310 大阪市北区芝田1-1-35

大阪新阪急ホテル3階

TEL: 06(6377)2002

FAX: 06(6377)2003

URL: <http://www.osakawaseda.jp>

mail: 125@osakawaseda.jp

俱楽部室開館時間：月～金(祝日、年末年始を除く)

11:00～18:00

編集／大阪早稲田俱楽部 広報委員会

印刷／大阪謹製サービス株式会社



101  
TAKARAZUKA REVUE

幕が上がる、夢がはじまる。

TAKARAZUKA

Revue.



©宝塚歌劇団

# 宝塚大劇場 東京宝塚劇場

●阪急宝塚駅下車

●お問い合わせ TEL.0570-00-5100

※一部の携帯電話、IP電話などからはご利用いただけません

(営業時間/10:00~17:00 水曜定休)

●JR有楽町駅、東京メトロ・都営地下鉄日比谷駅下車

●お問い合わせ TEL.03-5251-2001

(営業時間/10:00~18:00 月曜定休)

【宝塚歌劇公式ホームページ】<http://kageki.hankyu.co.jp/> 【宝塚歌劇公式携帯サイト モバイルタカラヅカ】<http://sp.takarazuka.tw/>

